

シンプルキッチンストッカー 高さ150 組立説明書 型番 F-213

この度は本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます

完成図



【日本製】

品質表示

寸法

外形 約 幅 590mm × 奥行 445mm × 高さ 1500mm
引出しの奥行き 約 337mm

表面材 扉(両面)・引出し前板(前面) 鏡面ポリエステル樹脂化粧合板
表面加工 その他 プリント紙化粧合板

取り扱い上の注意

- イ. 据付けの際には、湿気の多いところを避け、家具を水平に保つために必要な措置を講じてください。
- ロ. 直射日光又は、ストーブなどの熱を避けてください。

表示者 社団法人 日本家具産業振興会 窓 03(3261)2805

製造会社・管理番号 26-001

耐荷重量について 移動棚約10kg、引出し(小・大ともに)約10kgを超えない範囲でご使用ください。

⚠️ 組み立て前に必ずお読み下さい!

- 塗料・接着剤等の臭いがかもっている場合があります。開梱後、通気をよくして作業を行ってください。
- 組み立ては十分に広い場所で行い、まわりの家具や床等に傷がつかないように注意してください。
- 組み立てる前にまず部材・部品の確認をしてください。万一、傷・不足があればご面倒ですが、下記のお問い合わせ窓口までご一報ください。
- 組み立ての際は指を挟んだり、足にものを落とさないように充分注意してください。
- ボンドをつける前に仮組み(確認)をしないと間違いが防げます。
- ビスのプラス穴に合ったドライバーを使用し、最初は仮締め程度にし組み上がってから締めてください。
- ビスを必要以上に締め過ぎると空回りして効かない場合があります。電動ドライバーご使用の場合はご注意ください。
- ボンドが完全に乾いてから(約12時間程度を目安に)ご使用ください。はみ出たボンドは拭き取ってください。

※裏面の取扱説明書も必ずお読みください。また、この説明書はいつでも見られるよう大切に保管してください。

上記の注意事項に充分留意して、安全に正しく組み立ててくださいますようお願い致します。

組み立て時に用意する道具



お問い合わせ窓口

※製品には万全を期しておりますが、万一品質等に不明・お気づきの点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 / 株式会社 フジモク

所在地 / 〒625-0062 京都府舞鶴市森大田野527番地

受付時間 / AM09:00~PM12:00, PM13:00~17:00(月~金)

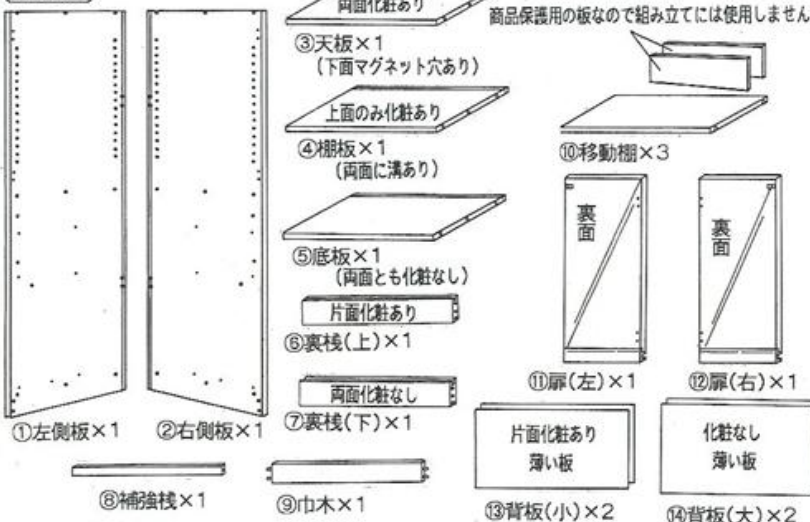
☎ 電話 / (0773)62-0923

土・日・祝日休み

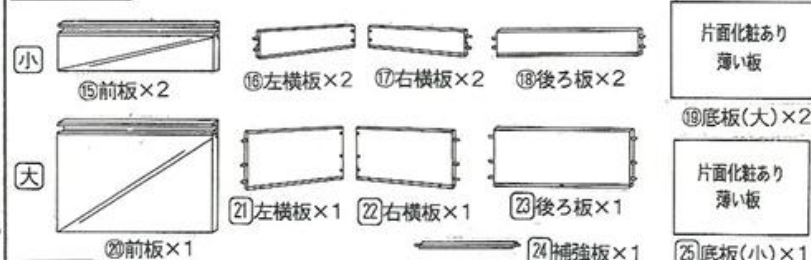
部材・部品明細

〈部材明細〉※下図に描かれた部材・部品が揃っているか、確認して下さい。

本体部材



引き出し部材



付属部品



組み立ての手順

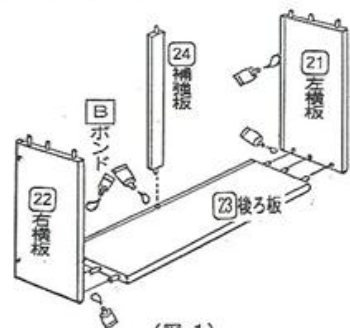
※番号の順番に従って組み立ててください

F-213

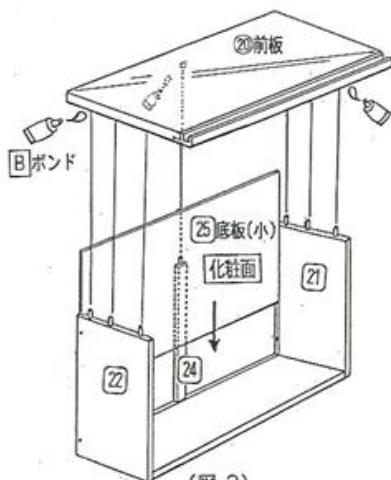
ハンマーで叩く場合は、あて板・古雑誌(厚みが2cm以上あるもの)等をあててください

1 引き出し(大)を組み立てる

- (1) 左右横板(21)・(22)の穴(各3個)に[B]ボンドを入れ、
[23]後ろ板の突起を合わせて打ち込みます。
- (2) [23]後ろ板の穴(1個)に[B]ボンドを入れ、[24]補強板を打ち込みます。
このとき[21]・[22]・[23]の溝にも(各2~3カ所程)[B]ボンドを
入れておきます。



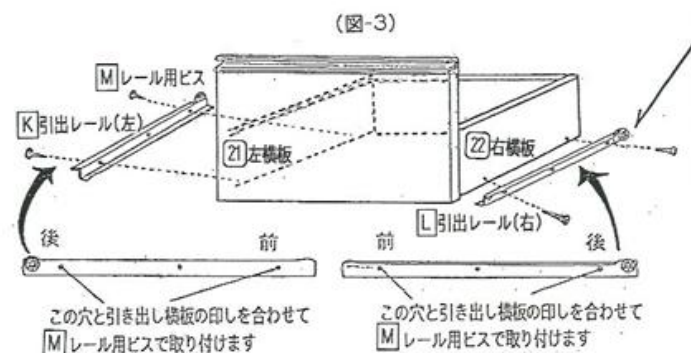
(図-1)



(図-2)

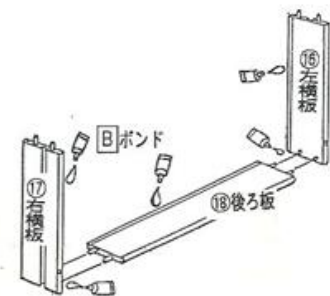
- (3) [21]・[22]の溝に沿って[25]底板(小)を、化粧面が上を向くようにして差し込みます。
- (4) [20]前板の穴(7個)に[B]ボンドを入れ、[21]・[22]・[24]の突起に合わせて打ち込みます。
※[25]底板(小)が各溝にキチンと入っているかを確認してください!

- (5) [21]左横板に[K]引出レール(左)を、[22]右横板に[L]引出レール(右)を、
[M]レール用ビスで取り付けます。



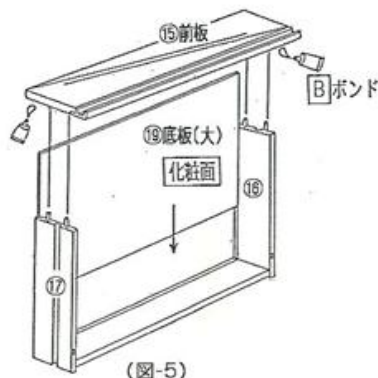
2 引き出し(小)を組み立てる

- (1) 左右横板(16)・(17)の穴(各2個)に[B]ボンドを入れ、
[18]後ろ板の突起を合わせて打ち込みます。
このとき[16]・[17]・[18]の溝にも[B]ボンドを
(各2~3カ所程)入れておきます。



(図-4)

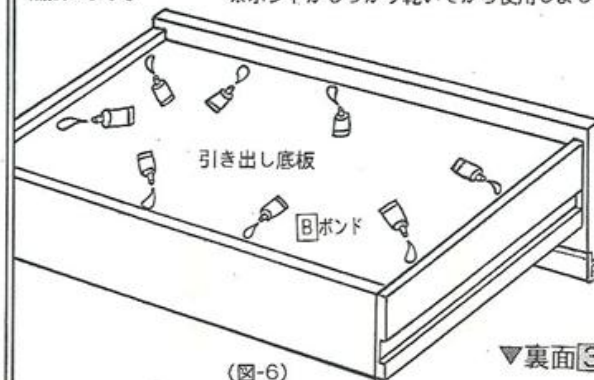
- (2) [16]・[17]の溝に沿って[19]底板(大)を、化粧面が上を向くようにして
差し込みます。
- (3) [15]前板の穴(4個)に[B]ボンドを入れ、[16]・[17]の突起を合わせて
打ち込みます。※[19]底板(大)が各溝にキチンと入っているかを確認
してください! (同じ要領で2個組み立てます)



(図-5)

- ① 引き出し底板が溝からはずれぬのを防止し、さらに安全にご使用
いただくためボンドによる補強をおすすめします。

組みあがった引き出しを裏返し、底板のはまった各溝にボンドをつけて
補強します。 ※ボンドがしっかり乾いてから使用しましょう。



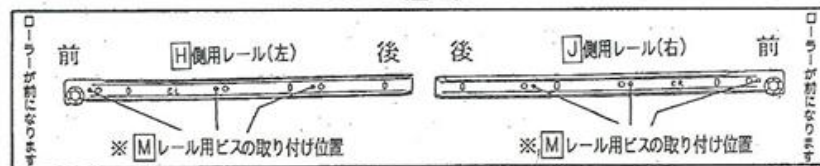
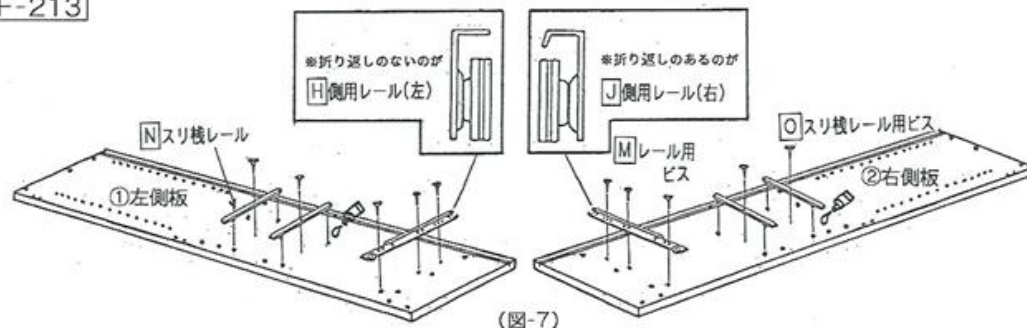
(図-6)

▼裏面3へ

3 スリ棧レール・側用レールを取り付ける

F-213

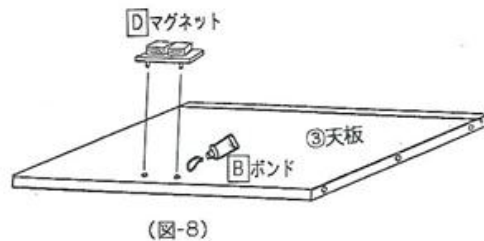
- (1) 左右側板①・②のスリ棧レール用穴(4個)に[B]ボンドを入れ、
[N]スリ棧レールの突起を合わせて打ち込み、
[O]スリ棧レール用ビスで固定します。
- (2) ①左側板の側用レール穴(3個)に合わせ
[H]側用レール(左)を、②右側板の側用レール穴(3個)に合わせ
[J]側用レール(右)を、それぞれ向きや位置に注意して
[M]レール用ビスで取り付けます。



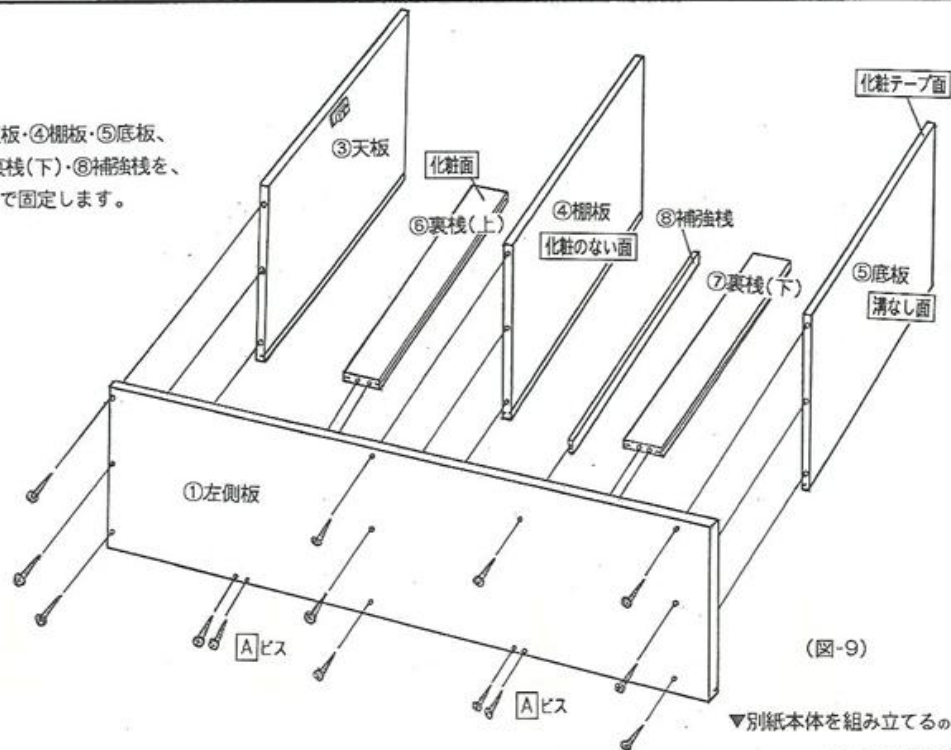
4 本体を組み立てる

- (1) ③天板裏面のマグネット用穴(2個)に[B]ボンドを入れ、
[D]マグネットを差し込みます。

※マグネットが入りにくい場合は、布や古雑誌などをあててからハンマーなどで、傷や破損に注意して軽くたたきます。



- (2) ①左側板に③天板・④棚板・⑤底板、
⑥裏棧(上)・⑦裏棧(下)・⑧補強棧を、
それぞれ[A]ビスで固定します。



▼別紙本体を組み立てるのつぎへ

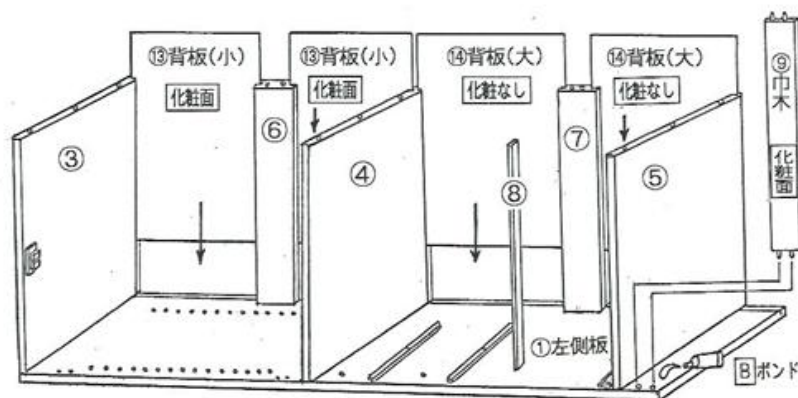
▼本体を組み立てるのつづき

F-213

- (3) ①左側板の穴(2個)に[B]ボンドを入れ、
⑨巾木の突起を合わせて打ち込みます。

- (4) ③・④・⑥の溝に沿って⑬背板(小)2枚を、④・⑤・⑦の
溝に沿って⑭背板(大)2枚をそれぞれ差し込みます。

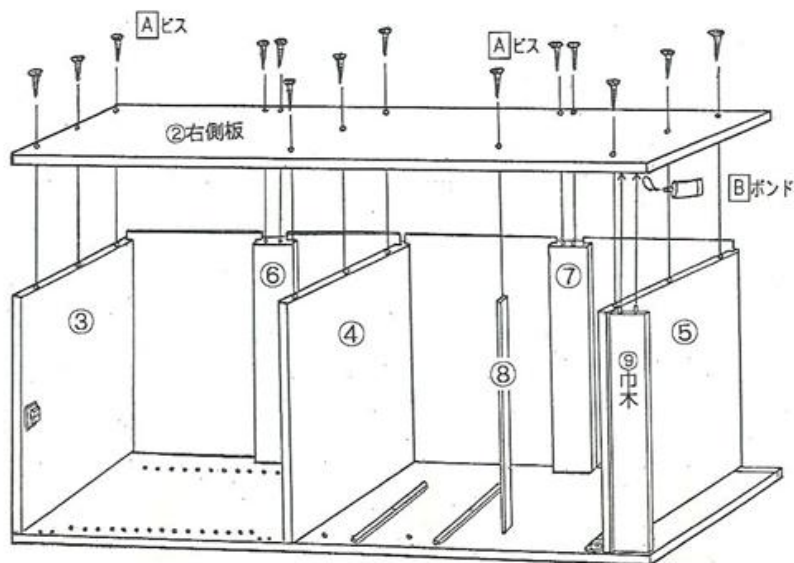
※背板の向きや位置を間違えないように注意してください!



(図-10)

- (5) ②右側板の巾木用穴(2個)に[B]ボンドを入れ、
⑨巾木の突起に合わせて打ち込んでから、
③・④・⑤・⑥・⑦・⑧に[A]ビスで固定します。

※背板(小)・(大)が各溝にキチンと入っているのを
確認します!



(図-11)

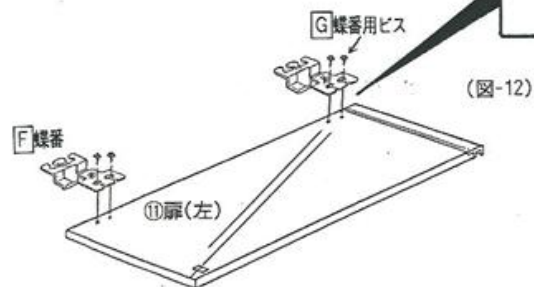
▼裏面5へ

5 蝶番を取り付ける

F-213

- (1) ①扉(左)の蝶番用印し(4カ所)に、
F蝶番(2個)をG蝶番用ビスで取り付けます。

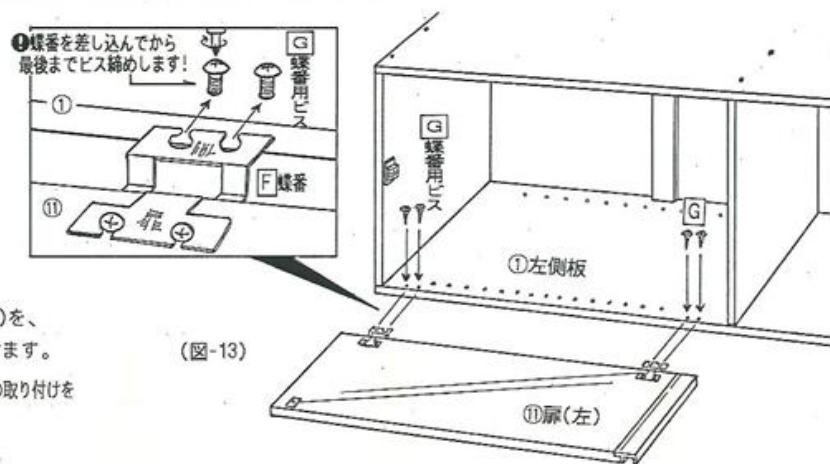
同じ要領で②扉(右)にも、F蝶番(2個)を
G蝶番用ビスで取り付けます。



6 本体に扉を取り付ける

- (1) ①左側板の蝶番用印し(4カ所)にG蝶番用ビスを、F蝶番が差し込めるほどの厚みを残してビス締めします。

- (2) ①左側板に途中までビス締めしたG蝶番用ビスのすき間に、①扉(左)に取り付けたF蝶番を差し込んでから、
G蝶番用ビスを最後までしっかりビス締めして固定します。



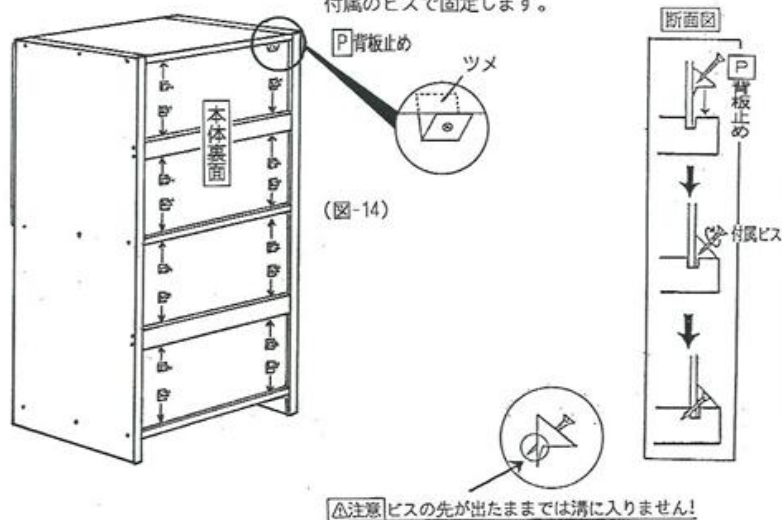
同じ要領で②扉(右)を、
②右側板に取り付けます。

※注)図-13は左側への取り付け
例にしています

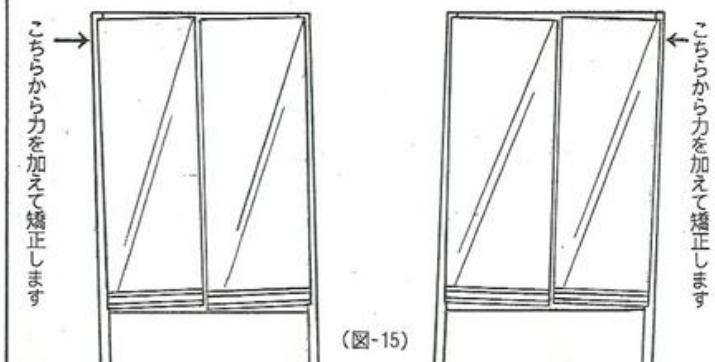
7 背板止めを取り付ける

- ①本体の横揺れなどを軽減するためP背板止めを取り付けます。

取り付け方 本体表面、背板部分の溝にP背板止めのツメを差し込み、
付属のビスで固定します。



※本体が左右に傾いている場合、矯正してから背板止めで固定します。



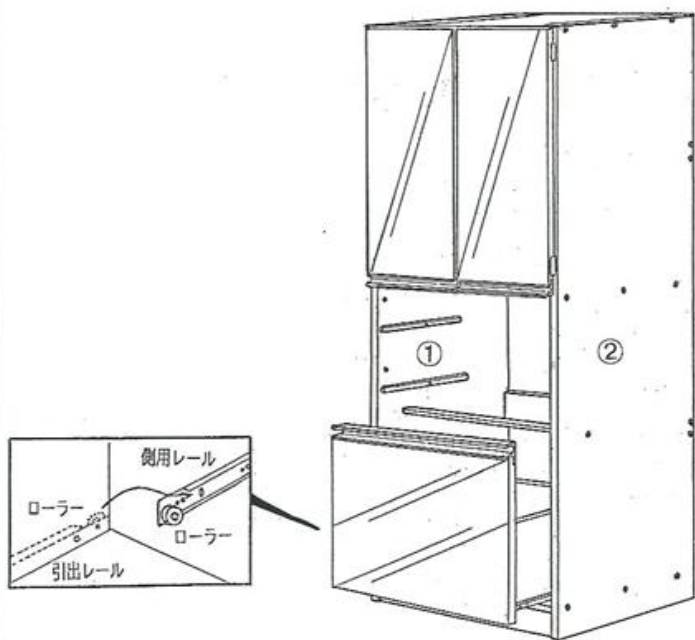
①扉の調整方法は別紙(最終ページ)をご覧ください。

▼別紙⑧へ

8引き出し(大)をセットする

F-213

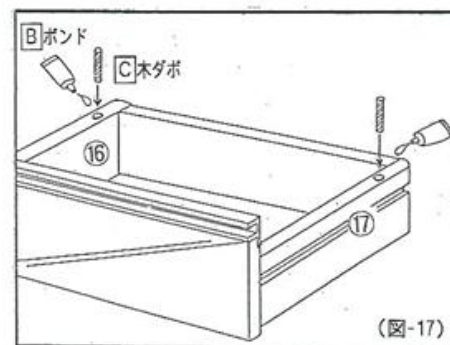
- (1) 左右側板①・②に取り付けた側用レールのローラーに、引出レールのローラーを合わせ滑らすように奥へと差し込みます。



(図-16)

9引き出し(小)をセットする

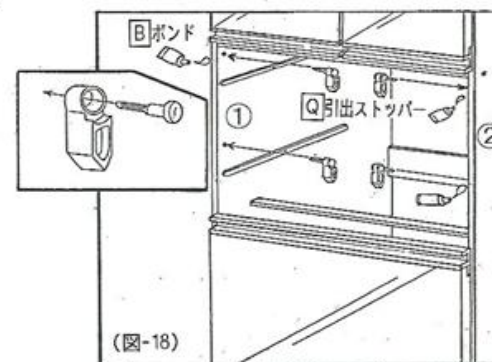
- (1) 組み立て手順2で組み立てた引き出し(小)2個の、左右横板⑩・⑪にある木ダボ用穴(各1個)にBボンドを入れて、C木ダボを差し込みます。



(図-17)

- (2) 左右側板①・②の引出ストッパー用穴(合計4個)にBボンドを入れます。

- (3) Q引出ストッパーの丸い穴にボルト部を差し、①・②のボンドを入れておいた穴にはめ込みます。

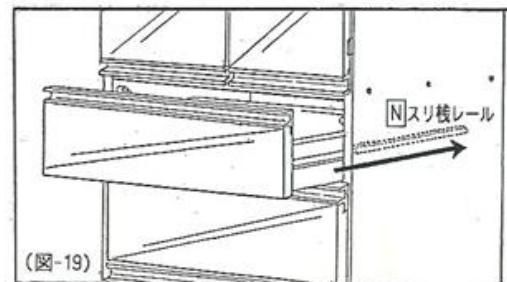


(図-18)

- (4) 引き出し左右横板の溝を、Nスリ棧レールに合わせて奥へと差し込みます。

引出ストッパー機能

- ①引き出したとき、引き出し左右横板に取り付けた木ダボが、本体両サイドの引出ストッパーにあたることで、抜け落ちによる落下を防ぎ安全にご使用いただけます。

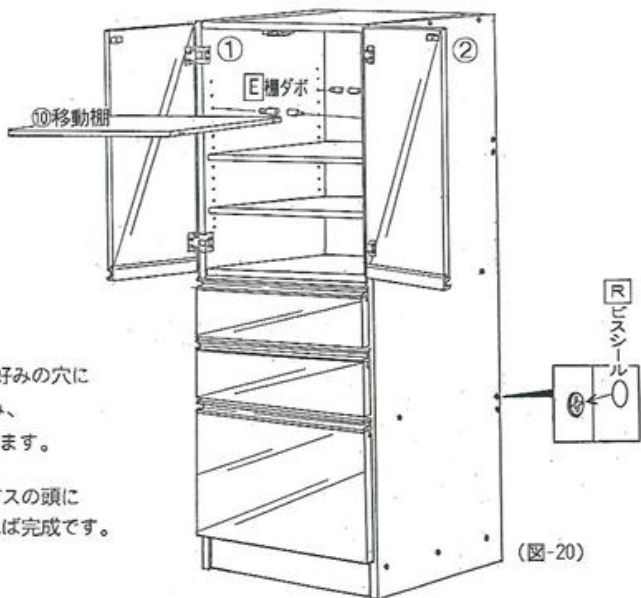


(図-19)

▼裏面10へ

10 移動棚をセットし、シールを貼る

F-213

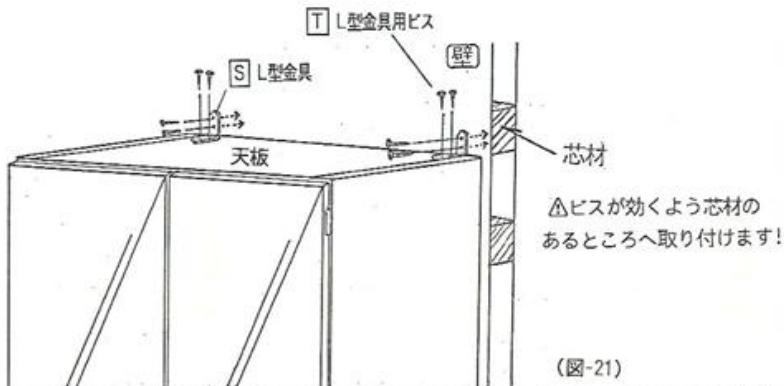


- (1) 左右側板①・②のお好みの穴に
E棚ダボを差し込み、
⑩移動棚 3枚をのせます。
- (2) 本体の見えるビスの頭に
Rビスシールを貼れば完成です。

(図-20)

L型金具の取り付けについて

設置後は本体天板の後部両端に、S L型金具をT L型金具用ビスで取り付けて、安全にご使用ください。

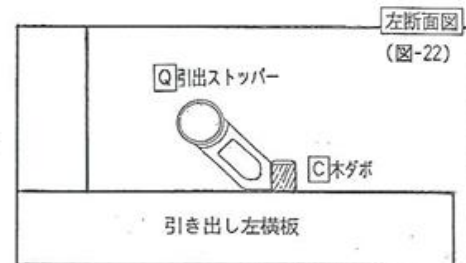


(図-21)

◆引き出しのはずし方について◆

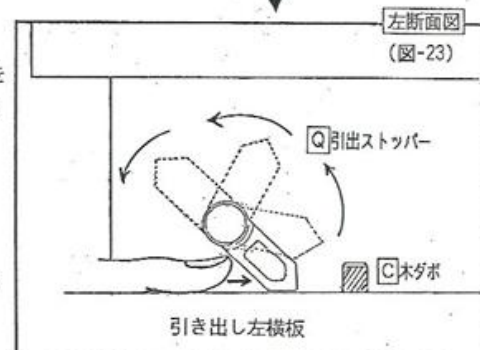
☆本体から引き出しを取りはずしたい時は、Q引出ストッパーの向きを変えることで抜き取ることが出来ます。

◎引出ストッパーが効いている状態です



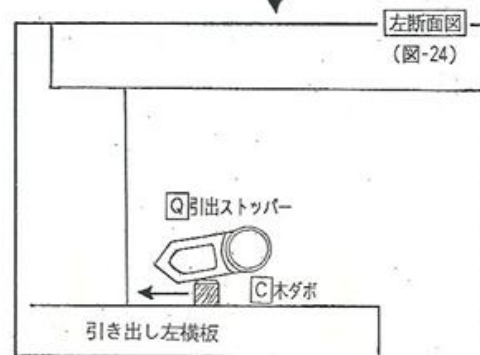
- 手順① C木ダボから少し離れた位置で、Q引出ストッパーを奥へ押しながら矢印の向きに回転させて前へ倒します。

同じ要領で左右共に引出ストッパーを回転し向きを変えます



- 手順② 引き出しをそのまま手前へ引いて抜き取ります。

(引出ストッパーの向きが逆になったことで、木ダボがロックされずに引き出しが抜けます)



▼別紙に蝶番の調整方法があります

蝶番の調整方法

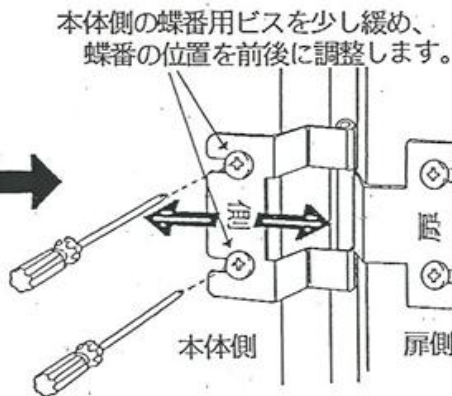
F-213

扉を調整するときは ビスを一度に全部緩めず、
必要な部分だけ緩めて 扉を落さないよう注意して
調整して下さい。

- ◎蝶番を固定しているビスを、蝶番が動く程度に緩めて扉を上下・左右・前後に微調整して下さい。
- ◎調整の後、いったん扉を閉めながら微調整して下さい。
- ◎調整が終わりましたら、ビスに緩みがないかもう一度確認してご使用下さい。
- ◎扉が落下しないよう、定期的にビスに緩みがないか点検して 安全にご使用下さい。

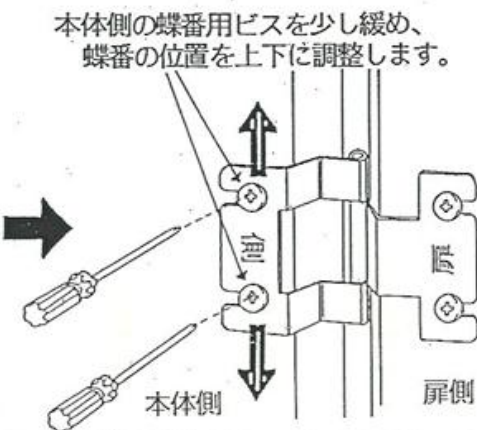
●扉を前後に合わせるとき

上から見た図



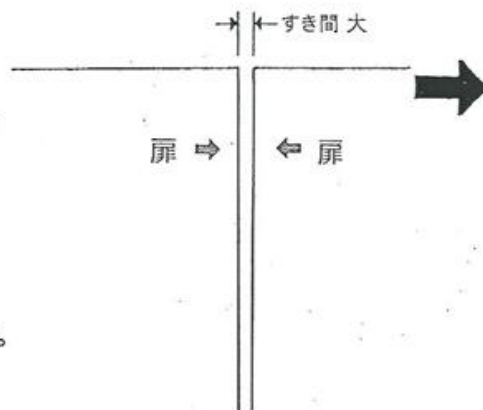
●扉を上下に合わせるとき

前から見た図

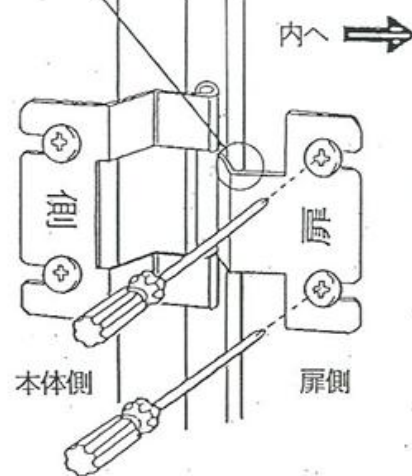


●扉を内に寄せるとき

前から見た図

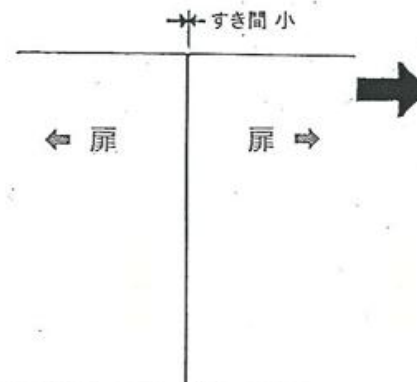


扉側の蝶番用ビスを少し緩め、
扉を内(金具から離れる方)に調整します。



●扉を外に離すとき

前から見た図



扉側の蝶番用ビスを少し緩め、
扉を外(金具に近づく方)に調整します。

